

■ 本文

- ① 「いざ、かいもちひ **せむ**。」(『宇治拾遺物語』)
- ② 子になり **給ふ** べき人な **めり**。(『竹取物語』)
- ③ いざ給へ、出雲拜みに。かいもちひ召さ **せむ**。(『徒然草』)
- ④ 散れ **ばこそ**いと桜は **めでたけれ** 憂き世に何か久しかる **べき**。(『伊勢物語』)
- ⑤ あづまの方に住む **べき** 国求めにとて行きけり。(『伊勢物語』)
- ⑥ われこそ死な **め**。(オリジナル例文)
- ⑦ 心あら **む** 友もがな。(オリジナル例文)
- ⑧ 君や来 **む** 我や行か **む**。(オリジナル例文)
- ⑨ いざ、もろともに帰ら **む**。(オリジナル例文)
- ⑩ 花咲か **む** 春をぞ待ちわたる。(オリジナル例文)
- ⑪ 雨降ら **むずれば**、今日は出でじ。(オリジナル例文)
- ⑫ この事を申さ **むずる** なり。(オリジナル例文)

■ 設問（全25問）

1. 例文①「かいもちひ**せむ**」の「む」の意味として最も適切なものを選び。
ア 推量 イ 意志 ウ 婉曲 エ 仮定
2. 例文①の「む」がその意味になる理由を、主語の人称に注目して一文で説明せよ。
3. 例文①「かいもちひ**せむ**」で、「む」の直前の「せ」は何という動詞の何形か。接続のきまりをふまえて答えよ。
4. 例文②「な**めり**」の「めり」は、助動詞「む」ではない。この「めり」は何か。文法的に説明せよ。
(ヒント：終止形やラ変型連体形に接続する推定・婉曲の助動詞である。)
5. 例文③「召さ**せむ**」の「む」の意味として最も適切なものを選び。これは話し手が相手を誘っている場面である。
ア 推量 イ 意志 ウ 勧誘 エ 婉曲
6. 例文⑥「われこそ死な**め**」の「む」の意味として最も適切なものを選び。
ア 推量 イ 意志 ウ 適当 エ 仮定
7. 例文⑥「死な**め**」の「め」は「む」の活用形である。何形か答えよ。また、その活用形になっている理由を、文中の係助詞との関係から説明せよ。
8. 例文⑥「死な**め**」で、「め」の直前の「死な」は動詞「死ぬ」の何形か。接続のきまりをふまえて答えよ。
9. 例文⑦「心あら**む**友」の「む」の意味として最も適切なものを選び。
ア 推量 イ 意志 ウ 婉曲 エ 勧誘
10. 例文⑦「心あら**む**友」の「む」の活用形を答えよ。また、その活用形になる理由を、直後の語に注目して説明せよ。

11. 例文⑧「君や来む、我や行かむ」の二つの「む」の意味を、それぞれ答えよ。主語の人称を手がかりにすること。
12. 例文⑨「もろともに帰らむ」の「む」の意味を答え、現代語訳せよ。話し手が相手に呼びかけている場面である。
13. 例文⑨「もろともに帰らむ」を、「む」の意味（勧誘）がはっきり伝わるように現代語訳せよ。
14. 例文⑩「花咲かむ春」の「む」の意味として最も適当なものを選べ。
ア 意志 イ 勧誘 ウ 婉曲 エ 推量
15. 例文⑩「花咲かむ春」を、「む」の意味（婉曲）がはっきり伝わるように現代語訳せよ。
16. 例文⑪「雨降らむずれば」の「むずれ」は助動詞「むず」の活用形である。何形か答えよ。また、そう判断できる理由を、直後の語に注目して説明せよ。
17. 例文⑫「申さむずるなり」の「むずる」は助動詞「むず」の活用形である。何形か答えよ。
18. 連体形の「む」が、例文⑦⑩のように下に体言（名詞）を伴うとき、推量・意志ではなく何の意味になりやすいか。漢字二字で二つ答えよ。
19. 助動詞「む」はどの活用の型と同じ活用をするか。次から選べ。
ア 四段型 イ 下二段型 ウ ラ変型 エ ナ変型
20. 助動詞「む」の活用を、未然形から命令形まで順に書け。活用形のない箇所は「○」と記せ。
21. 助動詞「む」「むず」は、活用語の何形に接続するか答えよ。
22. 助動詞「むず」は、もともと別々の三つの語が結びついてできた語である。どのような語が縮まってできたものか、説明せよ。
23. 前問をふまえ、「むず」がなぜ「む」とほぼ同じ意味（推量・意志など）を表すのか、その成り立ちから簡単に説明せよ。
24. 「一人称が主語なら意志、二人称が主語なら適当・勧誘、三人称が主語なら推量」という見分け方について、なぜこの順で意味が決まりやすいのか、「自分の心の中」「相手への働きかけ」という言葉を使って説明せよ。
25. 例文④「久しかるべき」、例文⑤「住むべき」の「べき」は、助動詞「む」ではない。何という助動詞の何形か答えよ。